

1. 略歴

1993年4月	東京大学教養学部文科三類入学
1995年4月	東京大学文学部歴史文化学科美術史学専修課程進学
1997年3月	同上 卒業
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻美術史学専門分野修士課程入学
1999年3月	同上 修了
1999年4月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻美術史学専門分野博士課程進学
1999年4月	同上 退学
1999年4月	財団法人大和文華館学芸部員（～2004年9月）
2002年4月	神戸大学大学院文化学研究科客員助教授（～2004年9月）
2004年10月	文化庁文化財部美術学芸課文部科学技官（絵画部門）（～2009年6月）
2007年10月	文化庁文化財部古墳壁画室併任（～2013年9月）
2009年7月	文化庁文化財部美術学芸課文化財調査官（絵画部門）（～2013年9月）
2013年10月	神戸大学大学院人文学研究科准教授
2016年11月	博士（文学）学位取得（東京大学）
2019年9月	コロンビア大学客員教授（～2019年12月）
2021年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

日本美術史 おもに日本古代・中世仏教絵画史

b 研究課題

仏教絵画史における日中交流の研究、仏教絵画と世俗画との相関関係に関する研究

c 概要と自己評価

近年は、仏教絵画において技法が有する宗教的意味と地域におけるその変容について関心を持って研究を進めている。その成果としては、東京国立博物館「普賢菩薩像」（平安時代・12世紀）や仁和寺「孔雀明王像」（北宋・11世紀）に関する論考があげられる。これらの調査研究については、科学研究費基盤研究（C）を得るとともに、京都大学人文科学研究所、九州大学等の研究プロジェクトに参加することでその成果を広く共有している。

また、文化庁文化財調査官としての勤務経験を生かして、国、及び地方公共団体における文化財調査や文化財指定・保護に関する委員会の委員を多く務めるとともに、文化財修理に関する歴史的な検証、その成果を実際の文化財修理に役立てるプロジェクトへの参加を行なっている。さらに美術史学会全国大会シンポジウムのチェアとして「修理と美術史学」を企画、運営し、修理が有する歴史と現在の意義を学会規模の共通認識へと広げている。

あわせて、東京国立博物館における特別展「鳥獣戯画のすべて」の開催に関わり、従来の仏教絵画史研究に加えて、「鳥獣戯画」を中心とした平安時代の絵巻研究、就中、後白河院による蓮華王院宝蔵の絵画コレクションの成立と崩壊について、美術史学の視点から研究を進めた。その成果については、広く市販されている『別冊太陽』として公刊するとともに、仏教文学会等、他分野の学会からの招聘を受けてシンポジウムにおける発表、『仏教文学』への投稿等を通じて広く周知している。また、コロンビア大学において教鞭をとるとともに、同大学における一般向けの講演会も実施し、研究成果を海外に発信している。今後も、技法の共有を通じた仏教絵画と世俗画との関わり、日本絵画史におけるコレクションの問題等に注目しながら研究を進める予定である。

d 主要業績

(1) 著書

共著、岩崎奈緒子、増記隆介ほか、『日本の表装と修理』、勉誠出版、2020.3

共著、土屋貴裕、増記隆介ほか、『鳥獣戯画』、東京国立博物館、2021.4

編著、増記隆介、『四天王寺所蔵 国宝扇面法華経冊子』、四天王寺、2021.9

(2) 論文

増記隆介、「平安時代の仏画制作とその修理」、『日本の表装と修理』、229-264頁、2020.3

- 増記隆介、「普賢菩薩の聖と俗 東京国立博物館普賢菩薩像の淡墨線をめぐって」、『日本美術のつくられ方 佐藤康宏先生の退職によせて』、3-29 頁、2020.12
- 増記隆介、「仁和寺孔雀明王像とその周辺」、『アジア仏教美術論集 東アジアIII 五代・北宋・遼・西夏』、267-297 頁、2021.3
- 増記隆介、「正倉院宝物と鳥獣戯画」、『特別展 国宝鳥獣戯画のすべて 図録』、418-419 頁、2021.4
- 増記隆介、「十六羅漢図」、『国華』、1511、61-66 頁、2021.9
- 増記隆介、「五島美術館蔵 駿牛図」、『国華』、1513、24-26 頁、2021.11
- 増記隆介、「後堀河院の絵巻制作と蓮華王院宝蔵」、『コレクションとアーカイブ 東アジア美術研究の可能性』、263-297 頁、2021.12

(3) 書評

山本聡美、『中世仏教絵画の図像誌』、吉川弘文館、『図書新聞』、2020.5

(4) 学会発表

- 国内、増記隆介、「鳥獣戯画とは何か」、神戸大学美術史研究会総会、2021.2.16
- 国内、増記隆介、「ガラス乾板から再現された法隆寺金堂壁画の美」、法隆寺講演会「国宝・法隆寺金堂の謎に迫る」、2021.2.20
- 国内、増記隆介、「正倉院宝物と鳥獣戯画」、連続講座 鳥獣戯画研究の最前線、東京国立博物館、2021.4.24
- 国内、増記隆介、「後白河院時代の絵画制作と宝蔵」、仏教文学会シンポジウム、2021.9.11
- 国内、増記隆介、「後白河院崩御後の蓮華王院宝蔵 宝蔵絵の去就をめぐる諸問題」、宝物とそのいれもの シンポジウム、2021.12.18
- 国内、増記隆介、「仏画四大展覧会 平安仏画・仏教の聖画・王朝の仏画と儀礼・美麗」、仏教芸術学会連続講座第一回、2022.2.20

(5) 研究報告書

増記隆介ほか、「大乘寺文化財調査報告書 大乘寺の絵画」、2020.3

(6) 監修

増記隆介、『別冊太陽 決定版 鳥獣戯画：「絵の原点」にふれる』、平凡社、2021.4

(7) 会議主催(チェア他)

国内、「第74回 美術史学会全国大会」、実行委員、シンポジウム 修理と美術史学、神戸大学、2021.5.14～2021.5.16

(8) マスコミ

「京都の国宝」、『読売新聞』、2020.3.1

(9) 受賞

国内、増記隆介、神戸大学優秀若手研究者賞、神戸大学、2020.11

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 非常勤講師、関西学院大学、「平安仏画史」、2021.8
- 非常勤講師、京都市立芸術大学、「平安仏画史」、2021.8

(2) 学会

- 国内、美術史学会、常任委員、2020.5～2021.4
- 国内、仏教芸術学会、運営委員、編集委員、2019.1～
- 国内、日本仏教総合研究学会、理事、2021.4～

(3) 行政

- 文化庁、「高松塚古墳壁画保存管理施設(仮称)の設置にかかる基礎調査」ワーキンググループ委員、2020.4～
- 読売新聞東京本社、文化庁、宮内庁、「日本の美を守り伝える『紡ぐプロジェクト』文化財維持・修理助成事業」選考委員、2021.11～
- 滋賀県、文化財保護審議会委員、2021.8～
- 兵庫県、文化財保護審議会委員、2021.8～2022.7
- 京都府、暫定登録文化財調査主任調査員、2021.8～